

# 「かわせみ会」便り

令和5年 9月号  
俳句を楽しむ会



俳句を楽しむ大阪工場OB/OG会のクラブ活動として運営されている「かわせみ会」は、毎月 第4木曜日 13時から2時間程度楽しんでいます。3月からTVのプレバトを真似て“写真を見て一句”のやり方を取り入れ出来栄を披露し合っています。

## 7月度の詠句

- ・短冊に願ひ書く子の幼な文字
- ・蝉時雨ポリリューム競う朝ドラと
- ・昼寝覚チャム連打の宅急便
- ・笹竹に希望願いて短冊を
- ・青田道天秤歩き田守りかな
- ・大暑来て心もとなし歳いくや
- ・いきり立つ我がもの顔や雲の峰



## 5月～6月度の詠句

- ・鯉のぼりポツンと泳ぐ老いの町
- ・白き足並ぶ足湯や五月晴れ
- ・マスク取り新緑の風類なでる
- ・父の日や遺影に花と日本酒
- ・静けき夜啼き声渡る雨蛙
- ・はやされて飛び石渡る夏の川
- ・菖蒲湯やすねに幼き頃の傷

## 最優秀句

風鈴の列成し風の音合わせ 奥 憲子

涼しそうな、風鈴の音色が聞こえるようです。境内で多くの風鈴を吊るした夜店で、風が吹くたびに揺れ、列を成して並んでいる風鈴が一齐に音を合わせるかのように鳴っている。その音色に幼き頃を懐かしみ、つい「立ち止まって聞き入ってしまった」と言っていました。

## 優秀句

- ・山頂下湧き水すくう夏登山
- ・雨音に気付けぬ儘の梅雨の昼
- ・着流しの粋なをとこの背に団扇
- ・名残り惜し最後の畝に汗と歎

## ◆ 写真を見て一句の兼題

### 【7月】浴衣



- ・裾ひろき父の浴衣に
- ・和たんすの花柄浴衣
- ・深思い
- ・母しのぶ

### 【6月】紫陽花



- ・菩提寺の狭き参道
- ・濃紫陽花

### 【5月】菖蒲園



- ・美しさ競う沼地の
- ・花菖蒲

担当幹事：鳥越・園田・由比浜・金子